



## はじめに

公園を含む緑地について、本市では、東日本大震災の復興事業等により、従来の「緑の基本計画」との乖離が見られるようになったことや、都市景観向上や防災能力向上等の効果を持つ緑地が再評価されつつあることから、従来の計画を改定し、令和3年3月に「第二次いわき市緑の基本計画」を策定しました。

今回の常設展では、市内に設置されている公園のうち、松ヶ岡公園・平中央公園・三崎公園の3か所について取り上げ、その沿革やそれぞれの公園にまつわるエピソードを紹介します。

近現代のいわきについて知るきっかけとなれば幸いです。

いわき市立いわき総合図書館

## 都市公園

地方公共団体や国が設置する公園または緑地のこと。「都市公園法」によって、設置や管理についての基準等が定められている。

本市においては、令和3(2021)年4月1日現在、276か所(総面積：529.3ha)が設置されている。

### 都市公園の種類

【 】はいわき市内の設置状況(令和3年4月1日現在)

種類	種別	内容
住区 基幹 公園	街区公園	主に、街区内の居住者を利用対象とする、最も身近な公園。誘致距離は250mの範囲内で、面積は1か所当たり0.25haを標準として配置する。【梅ヶ丘公園(四倉町)等、計220か所】
	近隣公園	主に、近隣地区内の居住者を利用対象とする公園。誘致距離は500mの範囲内で、面積は1か所当たり2haを標準として配置する。【平中央公園(平)等、計20か所】
	地区公園	主に、徒歩圏内の居住者を利用対象とする公園。誘致距離は1kmの範囲内で、面積は1か所当たり4haを標準として配置する。【松ヶ岡公園(平)等、計4か所】
都市 基幹 公園	総合公園	都市住民の休息、鑑賞、運動等の総合的な利用に供することを目的とする公園。都市規模に応じて、面積は1か所当たり10ha～50haを標準として配置する。 【21世紀の森公園(常磐水野谷町)・いわき公園(平上高久)、計2か所】
	運動公園	都市住民の主に運動の用に供することを目的とする公園。都市規模に応じて、面積は1か所当たり15ha～75haを標準として配置する。【上荒川公園(平上荒川)、計1か所】
大規 模 公園	広域公園	市町村の区域を超えた広域のレクリエーション需要を満たすことを目的とする公園。面積は1か所当たり50ha以上を標準として配置する。
	レクリエーション 都市	大都市その他の都市圏域の多様な広域のレクリエーション需要を満たすことを目的とし、総合的な都市計画に基づいて、大規模な都市公園を核として各種施設を配置した一団の地域。面積は全体規模1000haを標準として配置する。

国営公園	都道府県の区域を超えるような広域の利用に供することを目的として国が設置する大規模な公園。面積は1か所あたりおおむね300ha以上を標準として配置する。
緩衝緑地等	特殊公園 立地に制約のある都市公園や利用が特殊な都市公園の総称。以下のような公園が含まれる。 <u>風致公園</u> ：主に、風致を享受することを目的とした公園。 <b>【三崎公園(小名浜下神白)等、計5か所】</b> <u>動植物公園</u> ：動物園や植物園が主要な施設となっている公園。 <u>歴史公園</u> ：史跡・名勝等を広く一般に供することを目的とした公園。 <u>墓園</u> ：公園式に設計された墓地。 <b>【東田墓園(東田町)・南白土墓園(平南白土)、計2か所】</b>
	緩衝緑地 大気汚染や騒音等の公害防止・緩和を図ることを目的とする緑地。
	都市緑地 主に、都市の自然環境の保全・改善、景観の向上を図ることを目的とする緑地。面積は1か所あたり0.1ha以上を標準として配置する。 <b>【岩間防災緑地(岩間町岩下)等、計13か所】</b>
	緑道 災害時の避難路の確保や、都市生活の安全性・快適性の確保を図ることを目的とする緑地。幅員10～20mを標準として配置する。 <b>【洋向台緑道(洋向台一丁目)等、計9か所】</b>

## 松ヶ岡公園

所在地：いわき市平字薬王寺台・字新町・字古鍛冶町

面積：3.7ha

種別：地区(字薬王寺台・字新町)・街区(字古鍛冶町) (令和2年3月31日現在)

### 松ヶ岡公園略年表

年	月	日	事項
明治 39	1906	12	平町議会において薬王寺台への公園設置を議決。
明治 40	1907		起工。
大正 2	1913	5	竣工式を挙行。
大正 11	1922	6	平安会の提唱により、安藤信正公の銅像を建立。
大正 12	1923		弁天池(ひょうたん池)に噴水を設置。
昭和 3	1928		弁天池(ひょうたん池)の噴水に諸橋久太郎氏(のちの平市長)の寄付により龍の像(青銅製)が設置された。
昭和 14	1939	4	梅林を公売して砂場やブランコを設ける。
昭和 17	1942		池の龍の像と噴水装置が「金属回収令」によって撤去。
昭和 19	1944	3	安藤信正公の銅像が「金属回収令」によって撤去。
昭和 24	1949		弁天池(ひょうたん池)の半分を埋め立て、平市営テニスコートを設置。
昭和 28	1953	4	豆電車、飛行塔、木製二人乗り象メリーゴーランドを設置し、遊戯施設オープン。



松ヶ岡公園下の平市営テニスコート  
(昭和27年頃 いわき市提供)

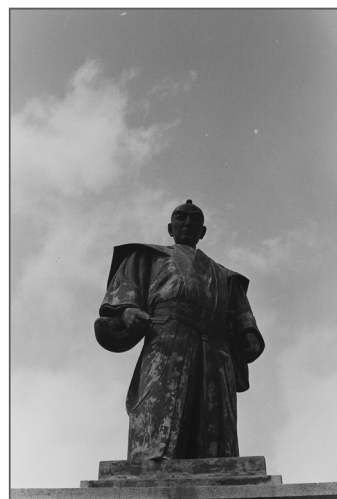


松ヶ岡公園の電気機関車  
(昭和34年 いわき市提供)

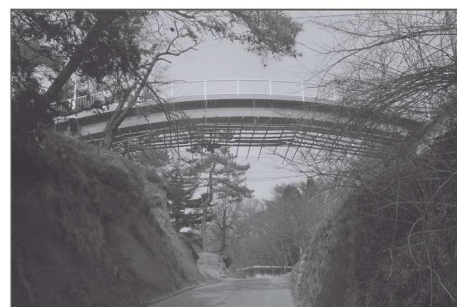
年	月	日	事項
昭和 28	1953	9	豆電車は電気機関車、飛行塔は 6 人乗り回転ポートに変更され、遊戯施設再オープン。
昭和 29	1954		ローラースケート場設置。
昭和 30	1955		ゴリラ、シカ、クマ、イノシシを飼育する小動物園を開設。
昭和 30	1955	9	平市営テニスコート西側に弓道場を設置。
昭和 30	1955		弁天池(ひょうたん池)に噴水復元。
昭和 31	1956	4	観覧車設置。
昭和 32	1957		飛行塔設置。
昭和 35	1960		ローラースケート場撤去。
昭和 36	1961		電気機関車が「こだま型」の電車に変更。
昭和 37	1962	7	再建された安藤信正公の銅像の除幕式。
昭和 41	1966	5	平市営テニスコートを上荒川に移転。
昭和 41	1966	11	テニスコート跡地に歌人・天田愚庵の庵を移築。
昭和 45	1970	4	天田愚庵の庵と弁天池(ひょうたん池)の間に 50 台が収容可能な駐車場と庵前の広場を設置。
昭和 46	1971	1 28	D-51 蒸気機関車、松ヶ岡公園に展示。
昭和 48	1973		回転ポートが回転コーヒーカップに変更。
昭和 50 年代			小動物園、丸山公園(常磐湯本町)に移設。
昭和 53	1978		飛行塔がロケット飛行塔へ変更。
昭和 55	1980		第二公園と結ぶ歩道橋を架橋。
昭和 56	1981		観覧車がサイクルモノレールに変更。
昭和 60	1985	4 26	D-51 蒸気機関車、松ヶ岡公園から石炭化石館に移設。除幕式。
昭和 63	1988		日本宝くじ協会からの助成を受け、公園の全面改修を実施。
平成 1	1989		公園の全面改修に伴い、遊戯施設をメリーゴーランド、スカイサイクル、回転ポート、豆蒸気機関車に一新。
平成 2	1990		第二公園を新設。アスレチック遊具「トンネルぐるりん」設置。
平成 4 年度	1992 年度		弁天池(ひょうたん池)を 3 分の 1 に縮小し、駐車場を拡張。合計 72 台が駐車可能に。
平成 19	2007	2	磐城平藩主安藤家入部 250 年記念事業実行委員会により、安藤信正公の銅造のかたわらに、説明板と記念碑が建立された。



松ヶ岡公園のクマ  
(昭和 46 年 4 月 いわき市提供)



松ヶ岡公園・安藤信正公像  
(昭和 51 年 4 月 いわき市提供)

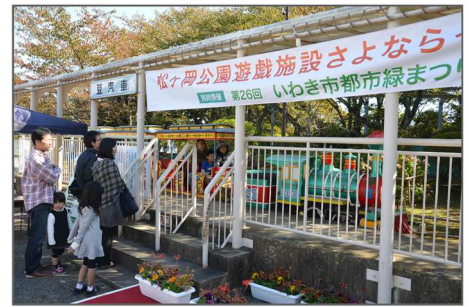


松ヶ岡公園第二公園へ通じる橋  
(昭和 55 年 3 月 いわき市提供)



松ヶ岡公園・回転ポートと桜  
(平成 10 年 4 月 いわき市提供)

年	月	日	事項	
平成 23	2011	3	11	東日本大震災発生により、有料遊戯施設が大きな損傷を受ける。
平成 24	2012	6		有料遊戯施設の更新や補修が難しいことから、撤去が決まる。
平成 24	2012	7		施設の老朽化・東日本大震災での損壊・利用者減少のため、遊戯施設廃止。
平成 24	2012	11	4	最後の思い出作りのため、撮影会、ステージイベント、思い出写真展などの「さよならイベント」開催。
平成 25 年度	2013 年度			福島再生加速化交付金を活用し、老朽化した施設の更新や広場の再整備を開始。
平成 27	2015	4		第二公園再オープン。
平成 28	2016	3	26	第一公園再オープン。オープニングセレモニー開催。



松ヶ岡公園遊戯施設さよならイベント  
(平成 24 年 11 月 いわき市提供)



松ヶ岡公園・遊戯施設撤去後  
(平成 25 年 8 月 18 日 いわき市提供)

## D-51 蒸気機関車

国鉄の車両近代化に伴って蒸気機関車が廃止され、いわき市は、その保存・展示の計画を進めた。昭和 45(1970)年 8 月、常磐線で石炭輸送等を行っていた車両の松ヶ岡公園への展示が正式に決定し、昭和 46(1971)年 1 月 28 日に弁天池(ひょうたん池)の脇に展示された。

昭和 60(1985)年 4 月 26 日には、前年に開館した「いわき市石炭・化石館」の駐車場へ移設され、除幕式が行われた。



松ヶ岡公園に D-51 機関車設置  
(昭和 46 年 1 月 いわき市提供)

## 天田愚庵の庵(いおり)

### 天田愚庵とは…

俗名は天田五郎。嘉永 7(1854)年、磐城平藩士の家に生まれ、戊辰戦争の際に行方不明となった家族を探すため全国を巡った。一時期、清水次郎長の養子となり、その伝記『東海遊侠伝』を執筆し、後に京都で得度を受け僧となった。愚庵は、漢詩や短歌に優れ、俳人正岡子規にも影響を与えたといわれる。明治 37(1904)年、京都の庵で死去した。

### 庵の移築

天田愚庵が晩年を過ごした庵は、都市計画の影響で撤去せざるを得なくなったことで、いわき市へ移築する計画が持ち上がった。昭和 41(1966)年、松ヶ岡公園・弁天池(ひょうたん池)の脇に移築され、庭園も整備された。同年 11 月 20 日には、落成式が行われた。

そして、平成 31(2019)年 3 月には、国の有形文化財に登録されている。

# 平中央公園

所在地：いわき市平字三崎

面積：1.5ha

種別：近隣 (令和2年3月31日現在)

## 平中央公園略年表

年	月	日	事項
昭和 41	1966		県立平商業高等学校、平中塩へ移転。
昭和 41	1966	4	平商業高校跡地に平市民会館落成。
昭和 48	1973		平中央公園の工事開始。
昭和 49	1974	8	19 「平商跡記念碑」除幕式。
昭和 53	1978	6	西村横丁(現レンガ通り)の拡幅工事に伴い、平町庁舎建設記念のクスノキ2本を平中央公園へ移植。
昭和 53	1978	7	25 平中央公園オープン。
昭和 62	1987	7	2 中国・撫順市との友好都市締結5周年記念像「友誼」除幕式。
平成 2	1990	8	22 池の改修工事開始。
平成 2	1990	11	池の改修工事終了。浄化槽と噴水を新設。
平成 18	2006	1	平中央公園を含む文化交流施設の建設工事開始。
平成 19	2007		文化交流施設の正式名称は「いわき芸術文化交流館」、愛称は「アリオス」に決定。
平成 19	2007	3	20 文化交流施設の第2期工事開始に伴い、平市民会館閉館。
平成 20	2008	4	8 「いわき芸術文化交流館」、大ホール・音楽小ホールや平中央公園などが完成し、第一次オープン。
平成 21	2009	5	2 「いわき芸術文化交流館」、中劇場などが完成し、グランドオープン。



平中央公園、市役所本庁舎、平市民会館を北東側から見る (昭和54年6月 いわき市提供)



アリオス外観を平中央公園から見る (平成21年2月 いわき市提供)

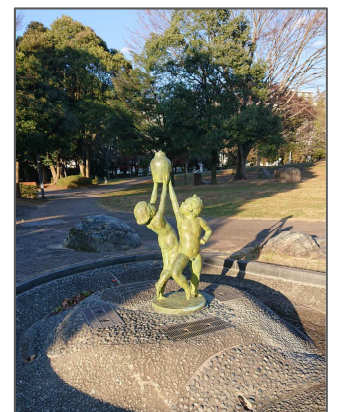
## キューピット像

作者は、いわき市出身の彫刻家、本多朝忠氏。松ヶ岡公園の安藤信正公の銅像も本多氏の作。

キューピット像は、平駅(現いわき駅)前大通りと国道6号(現国道399号)の交差点のロータリーに、平ロータリークラブ設立50周年を記念して、昭和32(1957)年4月25日に設置・除幕された。

昭和41(1966)年10月6日には、交差点のロータリー撤去に伴って、平市民会館前の緑地へ移設された。

その後、平市民会館跡地へのいわき芸術文化交流館の建設に伴って、平中央公園が再整備され、キューピット像は同公園内西側へ移設された。



平中央公園・現在のキューピット像 (令和3年11月 総合図書館撮影)

# 三崎公園

所在地：いわき市小名浜下神白字大作

面積：59.6ha

種別：風致

(令和2年3月31日現在)

## 三崎公園略年表

年	月	日	事項
昭和 36	1961	4	円形展望台完成(鉄筋コンクリート、高さ14m、直径10m)。
昭和 39	1964		磐城市は「三崎マリン・ランド構想」を打ち出し、三崎公園は総面積70haに及ぶ風致公園として都市基本計画が決定。
昭和 41 頃	1966 頃		小動物園設置。サル・クマ・シカ・ニワトリなどが飼育された。
昭和 48	1973	4	展望台から海寄りに芝生とサクラを植栽した「芝生公園」、一部オープン。
昭和 49	1974		高台の畑地を買収し「芝生広場」が完成。全面オープン。
昭和 50	1975	4	休憩舎・動物遊具等を芝生広場に設置。
昭和 53	1978	1	三崎公園海上展望台(三崎潮見台)建設工事開始。
昭和 53	1978	7 1	三崎公園海上展望台(三崎潮見台)がオープン。
昭和 53	1978	7 31	三崎公園海上展望台の愛称が「三崎潮見台」に決定。
昭和 57	1982	3	公園西側の山頂に3か所目の展望台完成。
昭和 60	1985	4	小動物園が、「いわきマリンタワー」の建設地にあったため、惜しまれながら閉園。
昭和 60	1985	8	市制施行20周年・都市公園法制定30周年を記念し、「いわきマリンタワー」仮オープン。
昭和 61	1986	8 1	管理棟・人工芝そり場(長さ65mと40m)・ソフトボール場・トリムコース・バーベキュー広場・多目的広場で構成された「いわきサンスポーツランド(市勤労者体育施設)」をオープン。
昭和 61	1986	8 1	「いわきマリンタワー」本オープン。
昭和 63	1988	7 1	「いわきマリンタワー」の夜間点灯を開始(夏季)。ライトアップにより、「ブルーライト小名浜」を演出。



三崎公園の展望台  
(昭和47年7月 いわき市提供)



三崎公園の三崎潮見台建設  
(昭和53年4月 いわき市提供)



いわきマリンタワー建設を三崎公園から見る  
(昭和59年8月 いわき市提供)

年	月	日	事項	
昭和 63	1988	7	1	「野外音楽堂」オープン。
平成 1	1989	4		「いわきマリンタワー」ライトアップの期間延長を望む声を受け、通年点灯となった。
平成 10	1998	4	28	「国民年金健康センターいわき」オープン。
平成 12	2000	3		公園北東部から進入する屈折した道路をほぼ直線化した、全長 410m の新設道路が完成。
平成 13	2001	4		三崎トンネルを幅員 14m・高さ 8m へ拡幅し開通。
平成 14	2002	8		公園内をめぐる幹線道路の全 1.14km の 2 車線化が完了。
平成 17 年度	2005 年度			公園北側に「港が見える丘」整備。



国民年金健康センターいわき落成  
(平成 10 年 4 月 いわき市提供)

## 綱取貝塚

綱取貝塚は三崎公園に位置する遺跡で、昭和 37(1962)年から平成 14(2002)年にかけて発掘調査が行われ、縄文時代から中世に及ぶ遺構・遺物が発見された。

貝殻や土器や石器、動物の骨等の遺物の他、いわきマリンタワーのある平坦部からは、竪穴住居跡等が多数発見され、昭和 61(1986)年に行われた遺跡の現地説明会では、いわきマリンタワーの周辺に竪穴住居が復元された

## 蔡国強 「廻光－龍骨」

「廻光－龍骨」は、中国出身の現代芸術家で、北京オリンピック・パラリンピック(平成 20(2008)年)の開・閉会式の視覚特効芸術監督を務めた蔡国強(ツァイ・グオチャン)氏による作品で、小名浜・神白海岸に埋まっていた廃船を素材として、改めて船の形に組み上げたもの。平成 6(1994)年にいわき市立美術館で開催された蔡氏の個展「環太平洋より」で展示された後、三崎公園に設置された。

その後、作品の老朽化に伴って、蔡氏の意向によりその保管方法を検討していたところ、平成 20(2008)年に開催された、「第 7 回ヒロシマ賞受賞記念 蔡國強展」に新しい作品「無人の花園」として展示することとなった。

そして、現在はいわき回廊美術館(平中神谷)に併設されている。



いわき回廊美術館・「廻光－龍骨」  
(平成 26 年 4 月 12 日 いわき市提供)

## 参考資料

- ・『第二次いわき市緑の基本計画』 いわき市都市建設部公園緑地課〳編 2021 K/518/I
- ・『広報いわき』 いわき市〳編 K/318.5/I
- ・『いわき民報』 いわき民報社〳編 出納書庫(原紙)・K/071/I(縮刷版)
- ・『いわき市統計書 第51回 令和2年版』  
いわき市総合政策部政策企画課統計分析係〳編 2021 K/351/I
- ・『いわき市市制施行50周年記念誌 未来へつなぐ「いわき」ものがたり』  
いわき市総合政策部ふるさと発信課〳編 2016 K/318.2/I
- ・『絵はがきの中の「いわき」』 いわき市立いわき総合図書館〳編 2009 K/210.6-1/I
- ・「時代を映す松ヶ岡公園の変遷—地方の都市公園が果たす役割と機能」 おやけこういち〳著  
(『潮流 第40報』 いわき地域学会〳編 2013 K/051/チ-40)
- ・『いわき平ロータリークラブ創立50周年記念誌 50年のあゆみ』  
創立50周年記念実行委員会記念誌部会〳編 2003 K/065/I
- ・『宙(そら)から桜が見えますか』 川内有緒 他〳著 2017 K/702/カ
- ・『いわきの遺跡めぐり』 馬目順一 他〳著 2006 K/210.2-1/I
- ・「いわきの今むがし」 いわき市ホームページ  
<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/genre/1503014401450/index.html>
- ・「公園とみどり」 国土交通省ホームページ  
[https://www.mlit.go.jp/crd/park/shisaku/p\\_toshi/syurui/](https://www.mlit.go.jp/crd/park/shisaku/p_toshi/syurui/)

令和3(2021)年12月16日 発行

■編集・発行 いわき市立いわき総合図書館



令和3年度 後期常設展「いわきの公園」

■会期 令和3(2021)12月6日(月)—令和4(2022)5月29日(日)

■会場 いわき総合図書館5階 地域資料展示コーナー